

いては、収入がぎりぎりのところにあることを考えると、追跡調査など、その後の暮らしぶりの把握が必要と考える。対応を伺う。

**教育長** 非認定になった世帯が全てポーターとは捉えていないが、今後も、生活資金等の貸し付けやスクールソーシャルワーカーへの案内を徹底していきたい。

**議員** 義務教育は無償が基本だが、実際には教材費や

修学旅行費等が徴収される。子どもの貧困対策としては、経済状況を改善させることも重要だ。徴収金を減らす努力をして欲しい。

**教育長** 辞書等の必需品についても、できるだけ質が高く廉価な物を学校に紹介するよう努力しているほか制服等のリサイクルについては、学校やPTAに積極的な取り組みを働きかけていきたいと考えている。

### ロコモティブシンドローム 子どもを守る取り組みを



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

**議員** ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは関節や筋肉など運動器に関する疾患で高齢者の課題と考えられていたが、昨今しやがめない、片足立ちでふらつく等の子どもが増えているとの報告がある。毎年行っている「東京都児童生徒体力・運動能力等調査」の結果について所見を伺う。

**教育長** 本市の児童・生徒の体力・運動能力は、全体的に一定の水準にあると考えているが、ロコモティブシンドロームの防止のためにも運動習慣を身につけさせ



地域子どもクラブの活動(南浦小学校)

る取り組みを推進したい。

**議員** 文部科学省は学校健診を見直し、平成28年度からこれまで項目になかった四肢や関節など運動器に関する検査を導入する予定だと聞く。市の対応を伺う。

**教育長** 市としても児童・生徒の体力・運動能力の実情に沿った改正と捉え、現在、学校関係者や学校医の代表者、三鷹市医師会等と協議・検討を行っている。

**議員** ロコモティブシンドロームが増えている原因の一つとしてゲーム機やスマートフォン等の普及により外で運動する機会が減っていることが考えられる。ゲーム機等の使用時間について調査、把握しているか伺う。

**教育長** 小学校6年生と中学校3年生を対象とした調査では、都や全国の児童・生徒と比較して短いという結果が出ている。三鷹「学び」のスタンダード等を活用した家庭でのルールづくりを働きかけていきたい。

### 地域での活用を取り入れて 空き家対策を促進せよ



自由民主クラブ 伊東 光則 議員

**議員** 空き家対策の基礎資料とする目的で、平成24年度に実施した調査から判明した内容について伺う。

**市長** 市内に空き家と思われる家屋が随分あり、所有者等の約2割が維持管理を行っていないかった。

**議員** 空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、特定空き家に対する判断基準や措置の手續きについて、市町村向け指針が定められた。市では条例化の検討もしていたが、国の動きをどう捉えているのか。

**市長** 特措法は、市内で検討した課題等を内包する内容であり、当面は同法に基づく対策を推進する。

**議員** 倒壊のおそれや衛生上問題のある空き家等について、市が撤去や修繕を勧

告・命令できるようにしたい。行政代執行も視野に入れて取り組んでいくのか。

**危機管理担当部長** 苦情等を受けた空き家4戸のうち、指導の結果6割以上が改善に至った。今後も丁寧な対応での解決を目指す。

**議員** 空き家を地域の高齢者サロン等に活用することも、問題解決の一つの方法であると考えている。

**市長** 建築基準法の耐震基準等の要件が確認できれば、検討の可能性はある。

**議員** 民間による空き家の活用を対象とした国や都の補助金がある。市内で適用できるのではないかと。

**危機管理担当部長** NPO法人が補助を受けた実績がある。今後も研究しながら情報提供していきたい。

### 芸術文化活動の振興を図り 活気ある三鷹の創造に努めよ



自由民主クラブ 土屋 健一 議員

**議員** 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)に整備される広場や体育館等の芸術文化活動への活用を伺う。

**市長** 広場は農業祭や商工まつり等のイベントに、体育館は芸術文化の分野にも活用できると考えている。

**議員** 日本の祭りは宗教色の強い伝統行事というイメージが強かったが、現在では地域コミュニティの発展にも重要な役割を果たして

いると考える。所見を伺う。

**市長** 市が進めているコミュニティ創生の機能を果たすとともに、地域への愛着、定住意識を高めるなど重要な取り組みだと認識する。

**議員** 現在多くの自治体の一大イベントとして市民祭りが開催されている。本市でも市内の祭りを総括するような「三鷹市民祭り」の開催を検討してほしい。

**市長** 市内の祭りを市民祭

### フリースクールへの支援で 多様な学習機会を確保せよ



自由民主クラブ 小俣 美恵子 議員

**議員** 何らかの心理的、身体的、あるいは社会的要因により、登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあり、フリースクールなどに通う市内の児童・生徒の現状について伺う。

**教育長** 現在、小学校で3名、中学校で8名がフリースクールに通い、その内7名が国のガイドラインに照らし、相談・指導を受けた日数を指導要録上の出席扱いとすることができている。

**議員** 国は有識者会議を設け、フリースクールへの支援の検討を開始した。また、超党派の国会議員による多様な学びの保障を実現するという議員立法の成立を目指す動きなどもある。

この一連の動向をどのように捉えているか伺う。

**第二副市長** 様々な媒体を活用して発信する機会の創出に取り組んでいきたい。

**議員** 小・中学生の芸術文化活動の場や機会の提供について今後の展望を伺う。

**教育長** 今後、更に活動の場と機会が充実するように、芸術文化協会やイベント主催団体等に働きかけたい。

### まち・ひと・しごと創生 総合戦略策定の考え方を問う



自由民主クラブ 加藤 浩司 議員

**議員** まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少を克服し、地方創生を成し

### 都市農業振興基本法に基づく 更なる農業振興を求める



自由民主クラブ 穴戸 治重 議員

ている。本市の総合戦略策定に向けた考え方を伺う。

**市長** 国の方向性と第4次基本計画に含まれている施策の方向性は一致している。第4次基本計画第1次改定に掲げた施策、事業を基本に、総合戦略で設定する基本目標の達成に向けて積極的に取り組んでいく。

**議員** 地方創生には、客観的なデータに基づき基本目標等を設定し、効果を検証、改善していくPDCAサイクルの確立が重要だ。総合戦略策定に当たり、国の地域経済分析システム等の活用について伺う。

**市長** 出発点として、将来人口の推計と分析が必要

だ。システム等を活用し、複数の視点から人口推計を行い、分析を進めている。

**議員** 総合戦略の策定は、住民や関係団体、民間事業者等の代表からなる推進組織を設置し、審議することが望ましい。所見を伺う。

**市長** 各分野から幅広く意見を聞くための推進会議を立ち上げる予定だ。検証する意味でも策定後も意見を聞き続けていきたい。

**議員** 総合戦略の策定においては、市町村レベルの地域課題の解消に向けて広域連携し、推進すべきだ。

**行政改革担当部長** 四市行政連絡協議会等の取り組みを継続していきたい。

国と都に要望していく。

**議員** 農業の成長産業化を図るため、農業協同組合法等の一部改正が行われた。農業協同組合との関係について今後の方針を伺う。

**市長** 法律改正等の理念で掲げられている農業者の農業所得の向上に向けた取り組みを、引き続き連携し、推進していきたい。

**議員** 農業協同組合との協働による農業振興計画の策定について所見を伺う。

**第二副市長** 農協をはじめ農業関係者との連携を密にし、取り組んでいきたい。

**議員** 農業委員会法の改正を受けて、今後の農業委員会の意義とあり方を伺う。

**市長** 農地を適正に管理し、より多く保全するため

遂げるため、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組みすることが重要と定義し

る。本市の総合戦略策定に向けた考え方を伺う。